委員会報告（文教厚生委員会）

令和2年度土岐市一般会計補正予算（第6号）　所管部分

質疑　**法人市民税還付金について、何社程度を見込んでいるのか。**

答弁　決算を迎えていないため、不透明な部分はあるが、予定納税している665社のうち、95社の還付が確定している。

質疑　**私立保育園新型コロナウイルス対策事業補助金について、補助事業の内容と補助率は。**

答弁　マスク、消毒液などの購入経費で、補助率は10/10である。

質疑　**旧下石保育園解体工事のアスベスト除去について、過去の調査で確認することができなかったのか。**

答弁　以前に実施した施設一斉調査の目視、簡易的調査では確認することができなかったが、今回の詳細調査により判明したものである。

質疑　**バーデンパーク SOGI 新型コロナウイルス対策支援金は、休館していた期間に見合う金額か。**

答弁　協力金として減った収益の一定割合の60%を支援することとした。

質疑　**中止となった、健康づくり事業に代わるオンラインイベントはどのようなものか。**

答弁　アプリを利用し、歩数をカウントすることによって、健康づくりに役立てていただくものである。

質疑　**図書館図書除菌機について、何台購入するのか。**

答弁　新型コロナウイルス感染症対策として、2台購入する。

質疑　**体育施設予約管理システムの導入目的は。**

答弁　これまで、予約開始日に申込者が市役所に集中してしまう状況であったが、システムを導入することにより、新型コロナウイルス対策として密を避けることができ、市民の利便性も向上する。

土岐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

質疑　**この条例改正によって利用者の負担が増えることはないか。**

答弁　令和元年10月から制度が変わっているが、従前と比べ負担が増えることはない。

令和元年度土岐市一般会計決算の認定について　所管部分

質疑　**民生費の引きこもり居場所づくり事業について、効果はあったのか。**

答弁　利用者は10人程度で、就労の準備段階に移行した方が2人いる。その間の支援や努力は相当なもので評価すべきである。

質疑　**西部こども園は、園児数が多いが、業務に支障はないか。**

答弁　園児数が多いことにより、問題が生じていることはない。

質疑　**臨時保育士を十分確保することができなかったことについて、どの様に考えているか。**

答弁　支援が必要な子どもが増えてきている状況で、臨時保育士の力に期待している。広報等での募集により、引き続き確保に努めたい。

質疑　**衛生費のごみ処理実績について、資源物の搬入量が減少している要因は。**

答弁　店舗等での拠点回収が増えているのが一つの要因と考えている。

質疑　**バーデンパーク SOGI の利用実績について。**

答弁　元年度の風呂利用者、総合利用者等を合わせ、総入場者数は226,715人である。

質疑　**健康診査事業の保健指導について、指導を受けない方へどのような対策を講じているのか。**

答弁　保健指導を受けていただけるよう電話での再勧奨を行っている。

令和元年度土岐市一般会計決算の認定について　所管部分

質疑 教育費のコミュニティ・スクール推進事業について、妻木小学校と肥田中学校をモデル地区として実施した成果は。

答弁 地域の方の意見を学校教育に取り入れることで、従来の学校評議員のときよりも、一層地域の意見を反映することができた。

質疑 放課後教室について、参加延人数が前年比で減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の影響か。

答弁 学校の一斉休校と同時に閉室し、3月の参加者がいなかったのが大きな要因である。

質疑 文化プラザ非常用自家発電装置のアスベスト処分について、その他の場所にアスベストは現存するのか。

答弁 非常用自家発電装置の排煙煙突部に付着していたが、それ以外にはないと考えている。

質疑 天然記念物白山神社のハナノキ及びヒトツバタゴ再生事業の実施状況は。

答弁 樹木を覆う高木を伐採し、生育環境の改善を図った。

討論 電源立地地域対策交付金を市職員の人件費に充てることは、不適切であり、この決算に反対する。

討論 ごみ袋有料化の本格実施により、市民負担が増えている。所管外であるが、プレミアム付商品券は執行率が低く、消費税増税対策としての効果が薄いため、この決算に反対する。

令和元年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について

質疑 平均保険料が5000円程度上がっているが、基金積み立て分を充てて、保険料を抑制することはできないのか。

答弁 保険料を抑制するため、繰越金を5000万円充てたが、今後著しく保険料が高騰する場合は、基金から繰入を検討したい。

質疑 出産一時金の執行が低かった要因は。

答弁 予算では65人を見込んでいたが、実人数は30人であったため。

質疑 保険給付費が、対前年度比4.8%程度減っている要因は。

答弁 国保加入者数とともに、診療件数も減少している。

討論 実質収支は黒字であり、基金に多く積み増ししているが、保険料の引き下げに充てるべきであり、この決算に反対する。

令和元年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について

質疑 決算収支から、介護保険事業をどのように分析しているのか。

答弁 高齢化率、要介護者も増加している状況ではあるが、介護予防事業に力を入れていることが給付費抑制の一因となっている。

令和元年度土岐市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

質疑 すこやか健診、さわやか口腔健診とも受診者が増加しているが、何かを取り組んだことによる効果なのか。

答弁 広報等での健診の重要性を呼びかけ、徐々に浸透してきている。今後も受診者が増えるよう取り組んでいきたい。

令和元年度土岐市病院事業会計決算の認定について

質疑 入院、外来とも患者数がかなり減少しているが、その要因は。

答弁 医師の減少が大きな要因である。

質疑 老人保健施設利用者が減少している要因は。

答弁 指定管理者制度へ移行するにあたり、職員が減少し、体制を見直したことによる。

質疑 61億円を上回る欠損金を今後どのように処理するのか。

答弁 地方公営企業法の改正により、議会の議決を経て、資本金の額を減少させ繰越欠損金に補てんすることができるようになった。今後、資本金の取り崩しについて検討していきたい。

委員会報告（総務産業建水委員会）

令和2年度土岐市一般会計補正予算（第6号）　所管部分

質疑 テレワーク導入実証実験について、情報漏えい等の問題はないのか。

答弁 個人情報を取り扱う事務を業務から外す等、今後詳細について検討する。

質疑 協働まちづくり推進事業のオンラインほやねさんの概要について。

答弁 子育てに関する悩みの解決、情報交換をする土岐くらしのラボから生まれた事業であるが、コロナ禍のため、オンラインを利用した講演会等を実施する。

質疑 災害状況等空撮により的確に把握するためにドローンを購入するとのことであるが、操縦は誰が行うのか。

答弁 ドローンを操縦することのできる職員が数名いるため、職員にて対応する。

土岐市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例について

質疑 地方公共団体の長等の基準給与年額の考え方は。

答弁 損害を与える原因となった行為日を含む会計年度に支給される報酬または給与であり、一部の手当は含まない。

土岐市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例について

質疑 新型コロナウイルス感染症の疑いがある市民と関わって、結果陰性であった場合、この手当は支給されるのか。

答弁 関わった時点で医師が疑いがあると判断すれば対象となる。

土岐市及び瑞浪市医療提供体制審議会共同設置規約について

質疑 この審議会は何回開催され、市民の傍聴は可能か。

答弁 3回を予定し、原則公開とする。

質疑 土岐市、瑞浪市の委員数の割合は、人口割等考慮するのか。

答弁 委員数は両市同数ということで、瑞浪市と調整している。

質疑 委員の構成はどのように考えているのか。

答弁 高齢者や子育て世代など市民の方にも参加いただけるよう調整している。

令和元年度土岐市一般会計決算の認定について　所管部分

質疑 広報とき発行事業について、発行する19,000部の配布内訳は。

答弁 自治会配布用に17,800部、その他、駅、セラトピア、道の駅などの商業施設、公民館、図書館などの公共施設に40～50部配布している。

質疑 地籍調査事業について、16.27%という進捗率は、市内全体の進捗率か。

答弁 土岐ヶ丘や河川など一部入っていない地区もあるが、ほぼ市内全域での進捗率である。

質疑 婚活イベント支援補助金について、その成果は。

答弁 主催者も参加者に対して良縁となるよう働きかけをするなど、実り多いものとなっている。

質疑 選挙の開票作業において、効率化をどのように図ったのか。

答弁 投票用紙読取分類機を導入し、仕分け作業が効率化された。

質疑 農林水産業費の農業次世代人材投資資金について、新規就農された3人は、どのような作物を栽培しているのか。

答弁 2名はブロッコリー等の野菜、1名は自然薯を主に栽培している。

質疑 農地中間管理機構集積協力金交付事業について、交付件数が伸びない要因は。

答弁 制度があまり認知されていないという点もあるため、農業委員会等を通じて制度の周知を図りたい。

質疑 商工費の駄知どんぶりバスの運営状況は。

答弁 財政的には厳しいものがあるが、自治会がイベント等を企画し乗車率向上の努力をしている。

質疑 土木費の大洞地区代替道路予備設計業務について、どのような道路を計画するのか。

答弁 イオン関連道路建設に伴う、大洞地区への連絡性の向上を図るための新たな道路を建設するもの。

質疑 消防費の救急出動回数について、年々増加傾向であるが、救急救命士は何名いるのか。

答弁 現在17名で活動している。